

経営比較分析表（平成28年度決算）

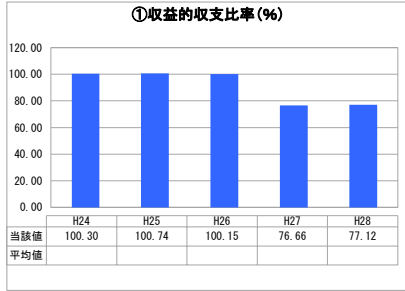
青森県 六戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	15.01	87.26	2,376

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,988	83.89	130.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,651	2.24	737.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



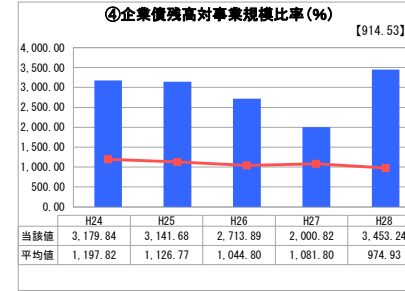
「単年度の収支」



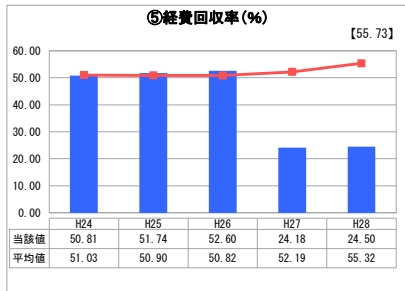
「累積欠損」



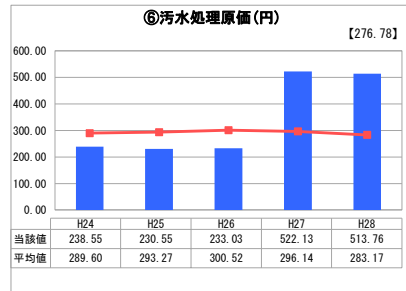
「支払能力」



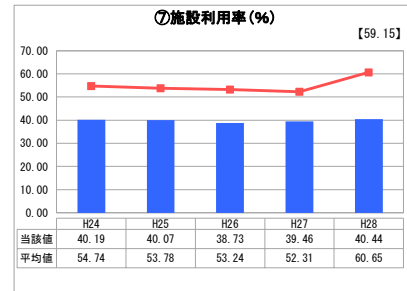
「債務残高」



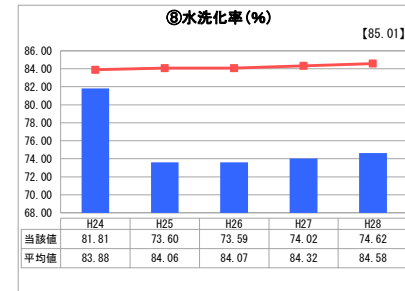
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

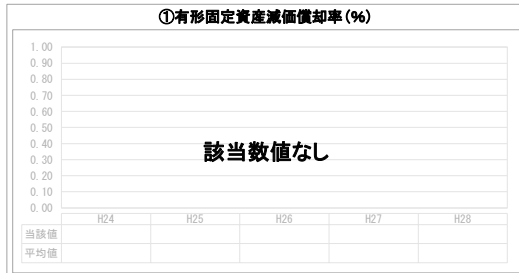


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

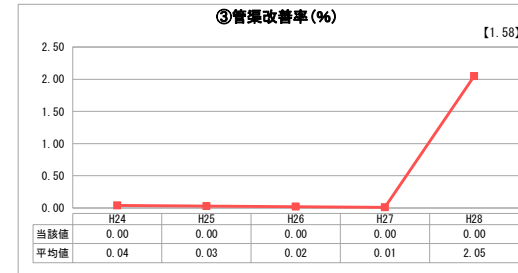
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・前年度に比べ比率はほぼ横ばいであり、使用料金収入で維持管理費を賄っていない状況である。また、企業債残高対事業規模比率についても、使用料金水準が適切であれば比率を下げるができると思われる。今後、長寿命化事業を実施していくことから、財源を確保する意味でも使用料の適正化(使用料金の増額改定等)の検討を進めていくこととする。

2. 老朽化の状況について

・平成29年度から順次施設・設備更新事業を実施することとしている。

全体総括

・前年度に比べ比率はほぼ横ばいであり、使用料金収入で維持管理費を賄っていない状況である。また、企業債残高対事業規模比率についても、使用料金水準が適切であれば比率を下げるができると思われる。今後、長寿命化事業を実施していくことから、財源を確保する意味でも使用料の適正化(使用料金の増額改定等)の検討を進めていくこととする。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。